

熊井恭子の仕事Ⅲ まちなか空間での作品展示 2010年～2020年

KYOKO KUMAI Ⅲ Works of exhibiting at Town Space 2010~2020

熊井 恭子
KUMAI Kyoko

キーワード：テキスタイルデザイン、ファイバーワーク、織・
編み・縫い・振り・紬い・染め

Keywords：Textile Design, Fiber Work, Weaving・Knitting・
Sewing・Twisting・Dying

I have been exhibiting two works a year at a town space in Iwamoto-cho, Chiyoda-ku, Tokyo from 2010 to 2020 without taking any holidays. The size of the space is W×H×D; 7×4×5m. The works are almost made of Stainless Steel Lines by the techniques of weaving, sewing, knitting and others by myself. They are drawings in Air of the myriads of Gods that I felt in Japanese nature. On 10th March 1945 I was 2 years old I suffered from the Great Tokyo Air Raid, our family evacuated from Tokyo to south countryside. There I met primitive nature. They were miracle and mysterious experiences for me. Einstein's word "everything humans imagine is in nature".

私は2010年2月から2020年まで東京都千代田区岩本町のスペースに年2作品のペースでインスタレーション作品を常設展示してきた。スペースのサイズはW×H×D; 7×4×5m。主にステンレススチールの細線を織る、縫う、編む等の技法で空間に神々との遭遇をドローイングしている。1945年3月10日2才直前で東京大空襲に見舞われ、大分県に疎開し、驚異的な大自然の神秘に出会った。私のものづくりはここに始まる。「人間が想像できるものは全て自然のなかにある」アインシュタインの言葉である。

略歴

1966年東京芸術大学美術学部卒業
1995～2008年長岡造形大学教授
2008年長岡造形大学名誉教授 現在に至る

受賞歴

1975年日本クラフト展新人賞、1983年日本クラフト展優秀賞、1986年九州クラフト展グランプリ、1987年国際テキスタイルコンペティション京都新技術賞、京都府知事賞、1989年朝日現代クラフト展優秀賞、1998年ウッジ国際タペストリートリエンナーレブロンズ賞、2018年第17回日本ステンレス協会賞特別賞、2019年第11回リトアニアミニテキスタイルビエンナーレメインプライズ



「空の果てまで」"Far Far Away"
2020年7月～2021年1月



「空」"KUU"
2019年10月～2020年6月



「立ち竦む風」"Frozen Wind"
2019年4月～9月



「蠢き(うごめき)」"Wriggle"
2018年10月～2019年3月



「草叢 (くさむら)」 “Grasses”
2018 年 4 月～9 月



「水の道」 “Way of Water”
2016 年 10 月～2017 年 3 月



「祝祭」 “Celebration”
2017 年 10 月～2018 年 3 月



「エア」 “Air”
2016 年 4 月～9 月



「草莽 (そうもう) の風」 “Wind Through the Grasses”
2017 年 4 月～9 月



「せんまんなゆた」 “SenManNaYuTa”
2015 年 10 月～2016 年 3 月



「游」"Floating"
2015年4月～9月



「立ち竦む風」"Frozen Wind"
2013年4月～9月



「兆し」"Signs"
2014年8月～2015年3月



「エア」"Air"
2012年10月～2013年3月



「翔」"Flying"
2014年4月～8月



「空」"KUU" 2012年4月～9月



「ユニヴァース」"Universe"
2013年9月～2014年3月



「四季を詠う」“Four Seasons”
2011年10月～2012年3月



「風の道」“Blowing in the Wind”
2011年4月～9月



「刻のかたち」“TIME”
2010年10月～2011年3月



「草莽の風」“Wind Through the Grasses”
2010年2月～9月

作品発表抜粋

- 1987 ローザンヌ国際タペストリービエンナーレ
- 1987 第1回国際テキスタイルコンペティション京都入賞
- 1991 個展 ニューヨーク近代美術館 米国
- 1991 染と織－現代の動向 群馬県立近代美術館
- 1993 糸と布の可能性展 福島県立美術館
- 1994～97 テキスタイルとニューテクノロジー “2010” 英国
- 1995 日本のファイバーワーク展 ヴィクトリア&アルバート美術館 ロンドン UK
- 1995 新井淳一・熊井恭子二人展 足利市美術館 栃木県
- 1996～2005 素材の挑戦展 ロンドン科学博物館 UK
- 1998 ウッジ国際タペストリートリエンナーレ ポーランド
- 1998～2019 国際コンテンポラリーアート展 MX パルセロナ
- 1999 世界を編む展 横浜美術館 神奈川県
- 2000 第1回大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ
- 2001～2003 TEXTURAL SPACE 英国各地
- 2005 Common Garden展 日本美術技術博物館 MANGGHA ポーランドクラクフ
- 2006 時を読む布展 新井淳一、熊井恭子、眞田岳彦3人展 群馬県桐生市有鄰館
- 2010～現在 個展ブルータスアートスペース常設展示 東京
- 2011～2016 日本のテキスタイルアート展 米、フィンランド、デンマーク、スペイン、ポルトガル、スウェーデン、フランス、オランダに巡回
- 2017～2018 交わるいと展 広島市現代美術館 広島県
- 2018 第6回リガ国際テキスタイル・ファイバーアートトリエンナーレ ラトヴィア
- 2018 個展 日本美術技術博物館 MANGGHA ポーランドクラクフ
- 2020年までの個展54回於 MOMA、ギャラリーギャラリー京都、ギャラリーマロニエ京都、千疋屋ギャラリー東京、ワコール銀座アートスペース東京、スペース 21 東京、C スクエア名古屋、トミオカホワイト美術館新潟県、大分県立芸術会館、ストライプハウス美術館東京、香林坊アトリオ石川県ポーランドクラクフその他

美術館コレクション

- 1988 サヴァリア美術館ハンガリー、1992 モントリオール装飾美術館カナダ、1992 ニューヨーク近代美術館 USA、1994 大分県立美術館大分県、1995 ヴィクトリア&アルバート美術館 UK、1996 足利市美術館栃木県、1996 ロンドン科学博物館 UK、1997 大分県立美術館大分県、1998 ウッジ中央染織美術館ポーランド、1999 大分市美術館大分県、1999 群馬県立近代美術館群馬県、1999 アンジェ市テキスタイル美術館フランス、2000 新潟県立美術館新潟県、2003 ノースダコタ州立美術館 USA、2004 東京国立近代美術館東京都、2008 京都国立近代美術館京都府、2011 ボストン美術館 USA、2013 横浜美術館神奈川県、2015 大分県立美術館大分県、2016 ヴィクトリア&アルバート美術館 UK、2017 大分市美術館大分県、2018 日本美術技術博物館 MANGGHA ポーランドクラクフ、2018 ラトヴィア国立装飾デザイン美術館、2019 アンジェ市テキスタイル美術館フランス、2020 ケダイネイ美術館リトアニア

写真

畔上咲子、落合淳一、砂山真、下山一人